

## 富士見TOPサポーター募集要項

### ■富士見TOPサポーターとは

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を支える富士見市の一員として、市が実施する東京2020大会関連事業及びホストタウンとして実施するセルビア共和国関連事業に携わり、2020年に向けて市民の機運醸成を図り、ホストタウンとしてセルビア共和国選手団をおもてなしの心を持って迎え入れ、東京2020大会を市一丸となって成功させます。

※TOPとは…①東京オリンピック・パラリンピックの略

②サポーターの方が市の重要な位置づけであるということ

③世界のトップ選手をサポートすること

■募集期間 2019年3月18日（月）～2021年3月31日（水）まで

■募集人数 制限なし

■活動期間 2019年4月27日～2021年12月31日まで

■活動時間 1日8時間程度（休憩時間あり）※活動内容により異なります。

※活動1回につき交通費・食費相当の活動費1,000円を支給します。

■応募要件 ①2005年4月1日以前に生まれた方

（18歳以下は保護者の同意が必要です。）

②セルビア共和国との交流に関心があり、活動に積極的に参加できる方

③政治、宗教、営利活動として利用しない方

④ボランティアで活動できる方

■応募単位 個人

■応募方法 ①直接 ②郵送 ③FAX ④市ホームページ応募フォーム

※市ホームページから登録申請書ダウンロード可

※様式自由で、住所、氏名（ふりがな）、生年月日、電話番号、メールアドレス、資格をお持ちの方は資格の名称、ご協力いただける内容及び応募の動機を記入し提出でも可

■活動内容 ①イベント補助

・会場設営、来場者の誘導・案内、運営補助

②通訳

- ・セルビア選手団及び関係者と英語又はセルビア語による通訳
- ・イベント開催時に来場者に対する手話通訳

③ 応急手当て

- ・イベント来場者・関係者等に急病人や怪我人が出た際の応急手当て

④ 保育

- ・関係者・サポーターの子どもの保育

⑤ 移動サポート

- ・関係者・選手等の移動サポート

⑥ PR活動

- ・イベントチラシの配布、掲出等

■保 険 活動開始前にボランティア活動保険に加入していただきます。

1年間 1人350円（自己負担）

■説 明 会 1人1回参加していただきます。

開催日 5月10日（日）以降で現在調整中

場 所 現在調整中

※開催日が決まり次第、直接お知らせします。

※説明会の参加にあたっては、活動費の支給はありません。

■活動決定まで 登録申請に当たり希望した活動内容と実際の活動とがマッチングする事業が実施される場合、事業開催約1か月前に活動の可否等についてお伺いします。その内容を承諾していただいた場合に活動決定となります。

■登録・取消 登録申請時の書類に不備がないことが確認でき次第「富士見TOPサポーター」として登録されます。

なお、次の場合には、登録を取り消すことがあります。

- ・本人の申出があった場合
- ・東京2020大会のイメージを損なう行為があった場合
- ・富士見市のイメージを損なう行為があった場合
- ・チームワークを著しく害する行動があった場合
- ・セルビア共和国選手団及び関係者、イベント参加者等への迷惑行為があった場合
- ・申請した内容に事実と異なる内容が判明した場合等

- その他 ①暑い時期の活動が多いため、ご自身の体力等を十分に考慮したうえで  
ご応募ください。
- ②通訳者については、後日面談をさせていただきます。
- ③面談及び説明会の参加にあたっては、活動費の支払いはありません。

■東京オリンピック・パラリンピック競技大会について

大会ビジョン

**スポーツには  
世界と未来を変える力がある。**

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。

2020年の東京大会は、

「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」、

「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」、

「そして、未来につなげよう（未来への継承）」

を3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーティブで、

世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

3つの基本コンセプト

全員が自己ベスト

万全の準備と運営によって、安全・安心で、すべてのアスリートが最高のパフォーマンスを発揮し、自己ベストを記録できる大会を実現。

世界最高水準のテクノロジーを競技会場の整備や大会運営に活用。

ボランティアを含むすべての日本人が、世界中の人々を最高の「おもてなし」で歓迎。

多様性と調和

人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障がいの有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩。

東京2020大会を、世界中の人々が多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会

をはぐくむ契機となるような大会とする。

### **未来への継承**

東京 1964 大会は、日本を大きく変え、世界を強く意識する契機になるとともに、高度成長の弾みとなった大会。

東京 2020 大会は、成熟国家となった日本が、今度は世界にポジティブな変革を促し、それらをレガシーとして未来へ継承していく。 （大会組織委員会HPより抜粋）